



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 平成31年 4月12日

「元気」と「本気」で大好きな温かい学校に！

校長 菅原 透



朝晩、雪が舞う中、梅の花が美しく咲き誇る季節を迎えました。置賜桜回廊が見事な衣装を纏うのも間もなくです。

この度の人事異動で、飯豊第一小より赴任いたしました。私事ですが、本校は母校であり、すでに教諭として5年、教頭として3年お世話になっております。この出会いをこの上ない幸せと感じながら、重責を果たすべく、熱い思いをもって精一杯学校経営にあたってまいります。

さて、47名の新入生を迎え、全校生272名、教職員27名、計299名で、平成31年度をスタートいたしました。

始業式では、子ども達に「みんなが大好きなあったかい学校を創ろう」と話しました。そのキーワードは「元気」と「本気」です。まず、「元気」は、2つの姿を示しました。1つ目は元気に「登校」すること。優しい仲間がいる、楽しいことがある、みんなが行きたくなる、大好きな荒砥小学校にするから、健康な心と体で来てほしいと伝えました。2つ目は元気に「あいさつ」すること。子ども達自身もあいさつの伝統を自覚していますが、それを一層磨いて、自分が、相手が、そして家庭・地域が元気になる、すてきな宝物にしていきたいと思えます。

もう一つの「本気」。具体的な姿は「努

力」することです。子ども達は一人ひとり無限の可能性を秘めています。めあてに向かって一生懸命がんばる、粘り強く挑戦して壁を乗り越える…。そのような経験が力を高めていくと信じます。さらには「自分から」取り組むこと。児童会や係活動等で楽しい学校にするための工夫を考え、実践したり、きまりをもとに仲間同士で気づき、高め合う集団をめざしたり…。人としての成長をめざします。

入学式では、1年生と、「元気にあいさつ」「一生懸命お勉強」「命を大切に」の3つを約束しました。1年生の子ども達も、大きな体育館でこれまでとは違う緊張感を持ち、しっかりと式に臨むことができました。とてもうれしくなりました。

まもなく、令和の幕開けとなる記念すべき年。子ども達にとって、私達、皆様にとって最高のものになりますよう、全教職員一丸となり、英知を結集してがんばってまいります。学校は地域に根づき、強固な支えがあってこそ安定した経営ができます。

皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

※入学式より→

